

1. 木質バイオマス関連情報

■神奈川県秦野市、全国で 104 例目の「バイオマス産業都市」に。同市は 2021 年に「2050 年ゼロカーボンシティ」への挑戦を宣言し、政府目標同様 2030 年までの温室効果ガス 46%削減 (2013 年度比) を設定。この一環として、市では昨年 8 月に秦野市バイオマス産業都市構想を策定。この中の木質バイオマス利用と廃棄物系バイオマス利用に関する 6 つの事業化プロジェクトを軸に国の公募に参加し、2 月 27 日に認定を受けた。市では今後、木質バイオマス利用では「秦野産木材の面的利用促進」「木質バイオマスボイラ更新」「木質燃料の面的利用」「木質バイオマス利用設備導入」の 4 つのプロジェクトを推進。具体的には薪の流通循環とそれに伴う薪ストーブの導入促進、羽根森林資源活用拠点 (仮称) の整備、端材の燃料活用などを行う【タウンニュース：2025/03/21】

<https://www.townnews.co.jp/0610/2025/03/21/777449.html>

■経産省、再生可能エネルギーの FIT 制度・FIP 制度における 2025 年度以降の買取価格等と 2025 年度の賦課金単価を設定し、公表。調達価格等算定委員会の「令和 7 年度以降の調達価格等に関する意見」を尊重したもの。10,000kW 未満の一般木質等、未利用材、建設資材廃棄物、一般廃棄物等のバイオマス発電の買取価格についてはこれまでと変わりなし。10,000kW 以上の一般木材等バイオマス発電とバイオマス液体燃料による発電の買取価格は入札により決定し、上限価格は事前非公表、2026 年度以降は支援の対象から外れることに。2025 年度の賦課金単価は、再エネの導入状況や卸電力市場価格等を踏まえ、3.98 円/kWh となった【経産省：2025/03/21】

<https://www.meti.go.jp/press/2024/03/20250321006/20250321006.html>

■大阪ガス (株) (大阪)、兵庫県姫路市と「木質資源のエネルギー利用を始めとする脱炭素化に資するエネルギー関連の取組に関する連携と協力に関する包括協定」を締結 (3 月 24 日)。姫路市内の森林資源のエネルギー用途での利活用を拡大することで林業および関連産業の活性化を図り、Daigas グループが

出資する広畑バイオマス発電所 (同市、発電容量 75,000kW) の事業運営を長期安定化させることを主な目的としている。同協定に基づく第一弾の取り組みとして、大阪ガス子会社の (株) グリーンパワーフュエル (大阪) と姫路市が、姫路市北部に位置する夢咲山で早生樹を育成。バイオマス燃料としての有用性評価と燃料用早生樹の利用に向けた事業化の検討等を行う。将来的には広畑バイオマス発電所での利用、地産地消の推進を目指す【大阪ガス (株)：2025/03/24】

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2025/1786735_58387.html

■京急グループ (神奈川) の京浜急行バス (株) (同)、4 月 1 日より電気バスおよび三浦半島地域を中心とする営業所等の施設で使用する電力を、京浜急行電鉄 (株) (同) の社有林や線路沿いの伐採木を発電の一部に活用した CO₂ 排出量実質ゼロの再生可能エネルギー電力に切り替えると発表。地球環境負荷の低い車両・人に優しいバスの導入を進めている京急バスでは、2022 年度に横浜市内で運行する路線に小型電気バスを 2 台導入したことを皮切りに、2025 年 3 月までに横浜市内および横須賀市内を運行する路線に小型電気バス 2 台と大型電気バス 7 台の計 9 台を導入。今回電気バスの電源に加え三浦半島地域を中心とする 8 営業所および 1 事業所で使用する電力も再生可能エネルギー由来の電力に切り替え、電力由来の CO₂ 排出量は実質ゼロとなる。年間の削減相当量は、電気バス分が約 150 t-CO₂、施設分が約 500 t-CO₂。今回導入する (株) タケエイでんき (本社・東京) の電力は、(株) タケエイグリーンリサイクル (神奈川) が運営する「横須賀バイオマス発電所」において、京急電鉄が「みうらの森林 (もり) プロジェクト」の一環として社有林や線路沿いで伐採した木々を木質バイオマス燃料として活用していることから、エネルギーの地産地消も体現している。京急バスとしての再生可能エネルギー導入は初【京浜急行電鉄 (株)：2025/03/25】

https://www.keikyuu.co.jp/company/news/2024/20250325HP_24177TE.html

■大阪公立大（大阪）、TJグループホールディングス（株）（大阪）と包括連携協定を締結（3月18日）。大学キャンパスの並木などから出る木材廃棄物などを同社の大阪府大東市にあるBPS大東龍間発電所（発電規模：約5,750kw）で使い、電気をつくる流れを本格化させるとともに様々な関係を広げたい考え。2018年9月の台風21号で大阪公立大の付属植物園の樹木が多く倒れ、同社グループ会社である（株）都市樹木再生センター（大阪）へ活用を依頼したことがきっかけ。昨年は同校中百舌鳥キャンパスで切り倒した木の幹や枝計12tを活用したほか、刈った草など170tも発電に用いた。2025年度からは対象を杉本キャンパスにも広げ、270tの活用を予定。包括連携協定では、カーボンニュートラル推進の事項以外に同大学および大阪公立大学工業専門学校の教育・研究等に関する事等で相互連携を図る内容が盛り込まれている。将来的には電気を買うことや、燃料チップ工場、バイオマス発電所の見学などを通じて、学生の学びを深めることも狙う【朝日新聞：2025/03/25、TJグループホールディングス（株）：2025/03/18】
<https://www.asahi.com/articles/AST3S42L8T3SOXIE002M.html>
<https://tjgroup.co.jp/news/250318.html>

■イーレックス（株）（東京）、岩手県大船渡市の森林火災による大船渡発電所への影響について公表。大船渡市より発令された避難指示により従業員が避難し、2月28日21時5分より発電を停止。3月7日10時に避難指示が解除となったことを受け、発電再開の準備を開始し、3月8日16時47分に再開。現在は平常通り運転している。今回の火災による設備損傷、人的被害はなかった。同発電所は太平洋セメント（株）が65%、イーレックスが35%出資する大船渡発電（株）が運営。PKSを燃料とし、発電出力75MW、一般家庭約119,000世帯分の年間電力消費量に相当する年間発電量約520,000MWhで、約308,000t/年CO₂削減に貢献しているとしている。イーレックスは3月28日、大船渡市で発生した「令和7年2月26日林野火災（赤崎町合足地内発生）」に対し、企業版ふるさと納税制度を活用して1,500万円を寄付した【OSR No.650：2025/03/26、イーレックス（株）：2025/03/10、2020/01/07、2025/03/28】
<https://www.erec.co.jp/news/information/2877/>
<https://www.erec.co.jp/news/pressrelease/400/>
<https://www.erec.co.jp/news/information/2890/>

■広島ガス（株）（広島）、広島県廿日市市大野において、FIP制度を活用したバイオマス発電事業の実施に向けたプラント建設工事を開始（3月28日）。プラントは（株）タクマ（兵庫）が受注。同事業では、燃料として国内の林地残材を中心に利用。発電所の出力は1,990kW、想定発電量は約13,800MWh/年（一般家庭約3,200世帯分の年間電力使用量に相当）。同社グループ単独では初となるバイオマス発電事業。今後、発電所の運営会社を新たに設立する予定。営業運転開始は2026年7月の予定【広島ガス（株）、（株）タクマ：2025/03/28】
https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/w_new/release/2024/biomass0328.htm
<https://www.takuma.co.jp/news/2024/20250328.html>

■山梨県甲府市、バイオマス燃料としての活用の研究を進めている新しい植物「ヤマトダマ」の栽培に関する報告会を開催。「ヤマトダマ」は、種や幹などからバイオマス燃料を作ることにより特化した植物で、市は昨年民間企業と協力し、市内の遊休農地など8か所で実際に育てながら栽培手法のほか種や枝の収量、生育に必要な土壌環境などを調べていた。報告会当日は調査を担った企業の担当者が温度が高く、日照時間が長いほど高く太い幹に成長することや、種をまいてから約半年ほどで急成長するものの、必要な土壌の成分は他の作物と変わらないことなどを説明。甲府市は今後、「ヤマトダマ」の実用化に向け、収穫した幹を実際にバイオマス燃料用ボイラで燃やしてどのくらいの熱量があるかを調べ、農業用ハウス用の燃料に使用できるかどうか等検証する予定【NHK NEWS WEB：2025/03/28】
<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kofu/20250328/1040026180.html>

■食用油大手のJ-オイルミルズ、主に東南アジアに分布し沖縄県でも自生しているテリハボクとポンガミアの種子に適合した搾油・精製工程の開発に成功。テリハボクとポンガミアは高木の亜熱帯植物で、沖縄では防風林や街路樹として植栽され、テリハボクの油は皮膚疾患向けや美容用としても利用されている。J-オイルミルズは、受粉すると種子になる胚珠に含まれる油分がテリハボクの場合は40～50%、ポンガミアは30～40%と多いことに着目。種子から搾油・精製した油脂を使ってSAFの製造に成功し、国際的な品質規格に適合していると認められた。この100%バイオマス由来のSAFは3月25日、NEDOの助成事業として114人が搭乗した日本トランスオーシャン

航空（JTA）の那覇発宮古島行きの定期便でジェット燃料と混ぜて使用。55 分間の飛行を順調にこなし、実用化に向けて一歩前進を果たした。しかし製造コストは非公開だが現在のジェット燃料の 2 倍以上とみられる。同社は 3 月から沖縄で試験栽培を始めており、規模を今後拡大する予定。また、東京農工大主導のプロジェクトにエネオス、住友商事などと共に参画し、原料の安定供給に向けた技術の研究・開発にも取り組む【産経新聞：2025/03/29】

<https://www.sankei.com/article/20250329-RMTSUQQTAF3HDL7UPZXTP104E/>

■宮崎県日南市で製材業を営む吉田産業（株）、同県串間市奈留で開発を進めている「北之股（きたのまた）発電所」の火入れ式を実施（3月31日）。バイオマス発電所では工場内で出た杉の端材や樹皮などを主燃料に、約 4 万 t /年の使用を計画。最大出力は 3,000kW、年間発電量は約 2 万 3,000MW（5,400 世帯分相当）の見込み。発電した電力とボイラから出た蒸気は工場で使用され、余った電力は九州電力（株）（福岡）に販売する予定。総事業費は約 30 億円。5 月に試運転し、6 月 1 日運転開始を目指す【NICHINAN.TV：2025/03/31】

<https://www.nichinan.tv/2025/03/31/kitanomata/>

■イーレックス（株）（東京）、2022 年 12 月よりベトナム国ハウジャン省にて建設を進めている「ハウジャンバイオマス発電所」の進捗状況について報告。既に竣工直前のプロセスである 72 時間連続運転試験を終了し、現在は売電開始に向けて当局の認可待ちの状態であると公表している。同発電所はイーレックスが 51%、Power Engineering Consulting Joint Stock Company 2 が 10%、Son My Renewable Energy Joint Stock Company が 19%、Ninh Thuan Agriculture & Renewable Energy Joint Stock Company が 9%、その他燃料供給会社が 11%出資する事業会社「Hau Giang Bioenergy Joint Stock Company」が運営。もみ殻約 13 万 t /年を燃料とし、発電出力は 20MW（年間発電量は一般家庭約 93,000 世帯分）。現地 FIT 制度により売電する予定【イーレックス（株）：2025/03/31】

https://www.erec.co.jp/wp-content/uploads/2025/03/20250331_IR.pdf

■大船渡山林火災の被害木、バイオマス発電燃料として活用検討へ。岩手県知事が 4 月 1 日の記者会見で考えを示した。深刻

な影響が出ている農林水産業の再生については、被害の全容を調査中だとしたうえで、焼けたり消火のため海水がかかったりして商品価値が落ちたスギなどの被害木について、バイオマス発電の燃料などとして事業者が買い取って活用できないか協議していく。知事は被害木の伐採、搬出や造林等については国の補助事業の活用を含めて国との調整を進めており、被災者の声も聞きながらどのような支援ができるか検討していくと述べている【NHK NEWS WEB:2025/04/01】

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/morioka/20250401/6040025175.html>

■綿半ウッドパワー（株）（長野）、4 月 1 日付でソヤノウッドパワー（株）（長野、以下「SWP」）の発電事業を承継したと発表。長野県、塩尻市、旧・征矢野建材（株）（長野）といった官民連携で進めてきた信州 F・POWER プロジェクトは、「木材加工事業」と「木質バイオマス発電事業」で構成されており、SWP はその発電事業を担う事業会社として 2014 年 3 月に設立。バイオマス発電所（定格出力 14,500kW）は 2020 年 10 月に稼働を開始したが、2023 年 8 月、旧・征矢野建材が民事再生手続き開始となり、綿半ホールディングスが（長野）が再生支援を行うことに。SWP はそれに伴い、チップの供給義務契約が解除されたこと等による業績不振に陥り、SWP の株主間で協議した結果、新会社を設立することとなった。2024 年 10 月、綿半ホールディングス（株）（長野）65%、（株）九電工（福岡）35%の出資比率で綿半ウッドパワー（株）（長野）を設立。SWP の発電事業を引継いだ。今後は 2025 年 8 月頃に申請する FIT 変更手続きが認可され、完了した後、SWP の特別清算手続に移行する予定【綿半ホールディングス（株）：2025/04/01、長野県】

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS99965/34d7df6a/4bed/4e94/a79e/b58f397efc00/140120250331504436.pdf>
https://www.pref.nagano.lg.jp/mokuzai/f_powerpj.html

■（株）海青社（滋賀）、新刊『木材科学講座 10 バイオマス』（宮藤久士、河本晴雄、梶田真也、亀井一郎編）を 2025 年 3 月 31 日に刊行。木材を木質バイオマス資源として捉え、その「生産」および「利用技術」を取り上げている。木材の化学成分利用に関して各種の生物学的あるいは化学的変換技術を紹介。大学で木材を学ぶ人にとっては教科書の定番である木材科学講座シリーズの第 10 巻。定価は 3,190 円（本体 2,900 円＋税）、全国の

書店で購入可【NEWSCAST：2025/04/01】

<https://newscast.jp/news/2342175>

■奈良県生駒市と TJ グループホールディングス（株）（大阪）が持続可能なまちづくりの推進に関する協定を締結（3 月 25 日）。今年 4 月から生駒市の北田原地区に建設した、当社にとって 2 基目となる木質バイオマス発電所が本格稼働することに伴い締結するもの。同社は、生駒市が過半数を出資している地域新電力会社「いこま市民パワー（株）」に 2019 年度から電力を供給しているとともに 2022 年 2 月からは株主として参加。協定により、2025 年度はいこま市民パワーが TJ グループホールディングスから調達する電力は前年度比約 2 倍増の 4,172MWh（供給電力の 24%）となる見込みに。また生駒市域から発生する木質廃棄物の発電用燃料等としての再生利用に関しても協力するとしている。4 月 21 日には北田原発電所の施設見学会も実施【PR TIMES：2025/04/07】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000074.000006886.html>

■バイオマス由来の水素製造システムの確立を目指す国立大学法人福島大（福島）などが、バイオマス由来の水素製造へ 2029 年度をめどに小規模実証・実用化プラント整備へ。身近に入手しやすい剪定枝や稲わらなどからエネルギー用の水素と、利活用可能な炭化物を併せて生産させることで、全国初の新たな地産地消モデルを構築する。プラントの仕組みは、バイオマス原料を「蒸し焼き」の状態にし、発生した水蒸気から酸素を分離させて水素を取り出す。この過程で生じた残さの炭化物をタイヤの補強材などとして活用する。本事業は内閣府地方大学・地域産業創生交付金事業令和 6 年度第 2 回公募に採択されたもので、同大をはじめ、福島県やエネルギー・エージェンシーふくしま（福島）、（株）大和三光製作所（東京）、住友ゴム工業（株）（兵庫）が連携して共同研究する。最終的にはバイオマスから水素と炭化物を製造するプラントの設置、地産地消ビジネスモデルの実現、県全体への水平展開を目指す【福島民報：2025/04/10、国立大学法人福島大学：2025/04/09】

<https://www.minpo.jp/news/moredetail/20250410123604>

<https://www.fukushima->

[u.ac.jp/news/Files/2025/04/193_01.pdf](https://www.fukushima-u.ac.jp/news/Files/2025/04/193_01.pdf)

■（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会（東京）、バイオマス発電所で利用される木質バイオマス燃料のうち、国産燃料材の需給動向（2024 年度第 3 四半期速報版）について調査結果を公表。同協会では木質バイオマス発電所および燃料供給会社を対象に、使用燃料の調達量や在庫状況について四半期ごとに調査を実施し、公表している。詳細は下記を参照【（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会：2025/04/10】

<https://jwba.or.jp/activity/fuelwood-demand-survey/>

■サカタインクス（株）（大阪）、山室木材工業（株）（滋賀）との協業により、木質バイオマスのリサイクルについての実証実験を開始。サカタインクスの滋賀工場で発生している廃木製パレットを山室木材工業が回収し、木材チップ化したものを紙製品や建築用ボードとしてのリサイクルや、山室木材工業のグループ会社「いぶきグリーンエネルギー（株）」（滋賀）が運営する木質バイオマス発電所の燃料として利用。その有効性を確認している。今後も廃棄物回収と資源再生に向けた取り組みに協力する資源リサイクルのパートナーを募集し、廃棄物の再資源化に向けた一連のスキーム構築を進め、顧客や同業他社をはじめとした印刷関連業界への展開も進めていくとしている【サカタインクス（株）：2025/04/15】

<https://www.inx.co.jp/news/detail/20250413131625.html>

■テスホールディングス（株）（大阪）、連結子会社の（株）伊万里グリーンパワー（佐賀）がバイオマス発電事業を行う「佐賀伊万里バイオマス発電所」が、4 月 19 日付で営業運転を開始したと発表。同発電所は、グループ会社で、GGL 認証を取得した PKS を取り扱っている PT INTERNATIONAL GREEN ENERGY (IGE)（インドネシア）より調達する PKS を主燃料とする。発電容量は 46.0MW、想定年間売電電力量は約 3 億 1,200 万 kWh（初年度想定）。これによる CO₂ 排出削減量は、約 131,664t-CO₂/年となる見込み【テスホールディングス（株）：2025/04/21】

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/5074/tdnet/2595860/00.pdf>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■大断面集成材・CLTの製造販売等を行っている(株)中東(石川)が、群馬県の板倉ニュータウン業務用地C区画(3,684.95㎡)を取得。関東圏における構造用集成材や鉄骨等のハイブリッド構造材の受注拡大を背景に、当材や木造ユニットハウスの組立、ペレットストーブ、バレルサウナ及び木質ペレット燃料の展示・販売の拠点を設置する。同社は本社がある石川県能美市にペレット工場を持つ。集成材やCLTの製造工程の中で、挽き板「ラミナ」の含水率と強度を計測するためモルダージェキをしており、その時に出るモルダージェキ屑を活用してペレットを製造。主にマツとスギを原料とし、500t/年生産。10kg入りの袋詰めにしたものは「能ん美りペレット」という商品名で販売されている。板倉ニュータウン業務用地の分譲契約日は3月21日、建設着工は2026年1月、操業開始は同年6月の予定【群馬県：2025/03/21、(株)中東】

<https://www.pref.gunma.jp/site/houdou/693733.html>

https://chuto.jp/file/pdf01_20240627.pdf

■木質ペレットのストーブ販売を手掛ける北海道芽室町の池田建設工業(株)の環境エネルギー事業部ストーブ部門「GuFo」が、町の新たな特産品・落花生の殻から作る「たきつけ材」を試作。「芽室にある物を活用した新製品を開発したい」との考えから、同町で落花生の生産・加工品販売を手掛けるメモロピーナッツ(株)(同)でこれまで廃棄していた加工用の落花生の殻を活用。同社は2023年に足寄町のマルショウ技研(株)から木質ペレットストーブ事業を承継。国内外のペレットストーブ販売、メンテナンス事業やペレット燃料・グッズの販売等を行っており、ペレットストーブの実物を見て、体感できる展示ショールームもある。部門名とした「GuFo」はイタリア語でフクロウを意味し、フクロウはアイヌにとっては森の守り神。顧客の暖かな暮らしを見守り続けたいとの思いを込めている【十勝毎日新聞：2025/03/22、金曜ポコペン；2025/04/18、メモロピーナッツ(株)、GuGo】

<https://kachimai.jp/article/index.php?no=628425>

<https://friday-pokopen.net/?p=5610>

<https://memuro-peanuts.com/>

<https://www.gufo-pellet.com/about/>

■2025年10月に運転開始予定の「仙台港バイオマスパワー発電所」(宮城県仙台市)の運営事業者と宮城県、仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、七ヶ浜町及び利府町が3月27日、県公害防止条例に基づき大気汚染物質の排出基準順守などを定めた公害防止協定を締結。運営事業者である「仙台港バイオマスパワー合同会社」には住友商事(株)(東京)が45%、東京ガス(株)(東京)100%出資子会社のプロミネットパワー(株)(東京)および北陸電力(株)(富山)が各25%、住友商事東北(株)(宮城)が5%出資しているが、今回の協定では住友商事が代表社員として締結している。協定内容は一般的公害対策、大気汚染防止対策、水質汚濁防止対策、騒音防止対策など多岐にわたる。発電所は輸入木質ペレットと国内材を燃料とし、発電出力は11.2万kW、発電電力量は約7.8億kWh/年(一般家庭約26万世帯分に相当)。発電した電気は、全量をFITにより東北電力ネットワーク(株)(宮城)に売電する計画【河北新報：2025/03/28、宮城県：2025/03/27、東京ガス(株)：2022/03/31、仙台市：2025/3月】

<https://kahoku.news/articles/20250327khn000083.html>

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/20250327.html#GAIYO>

<https://www.tokyo-gas.co.jp/news/press/20220331-04.pdf>

https://www.city.sendai.jp/kankyochose/shise/security/kokai/fuzoku/fuzokukikan/kankyo/ekyo/documents/r070328_5-1.pdf

■イーレックス(株)(東京)、3月よりベトナムでFSC認証を受けた木質ペレットの製造を開始したと発表。「イーレックス・サクラ・トゥエンクアン・バイオマス燃料工場」はベトナム北部のトゥエンクアン省で2024年3月より建設を進めてきたもので、投資額は2,040万ドル(約30億円)。イーレックスが97%、残りを現地企業が出資している。現地の木材や木質残さから製造し、生産能力は15万t/年。全量を日本を中心とするベトナム国外のバイオマス発電所向けに輸出する【イーレックス(株)、日本経済新聞：2025/03/31】

https://www.erec.co.jp/wp-content/uploads/2025/03/20250331_IR.pdf

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC316540R30C25A300000/>

■（一社）日本ペレットストーブ工業会（富山、以下「PSJ」）、（一社）日本暖炉ストーブ協会（東京）と共同で業界規格「家庭用木質バイオマス燃料燃焼機器の試験方法（JFSA/PSJ-01:2024）」を2024年12月に制定。建築物省エネ法が改正され、2025年4月より全ての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合が義務付けられることに対する措置。国交省としては、省エネ基準の義務化を2020年に目指していたが、業界団体の圧力で一旦は義務化を見送ったものの、本年4月に義務化された。住宅エネルギー消費性能や外皮性能を評価する各種計算プログラムを提供するサイト「住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」では、ようやく薪ストーブやペレットストーブが選択できるようになった。PSJらの規格は薪又は木質ペレットを燃料とする、主として一般家庭用の暖房に用いる木質バイオマス燃料燃焼機器の熱効率、熱出力及び消費電力を測定するための試験方法を規定するもので、建築研究所の技術情報サイトのペレットストーブの暖房エネルギー消費量及び最大暖房出力の計算の際の引用規格として記載されている。この計算プログラムの更新は原則として4月と10月の年二回行われることとなっている。PSJらの業界規格も2025年9月末を目途に、同規格を基にして日本産業規格（JIS）「家庭用木質バイオマス燃料燃焼機器の試験方法」の原案策定を進めているとのこと【（一社）日本ペレットストーブ工業会：2025/03/31、ペレットクラブ：2025/02/28、国土交通省：2022/10月、（国研）建築研究所、住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム】

<https://pstove.jp/construction/>

<https://pelletclub.jp/library/2025/03/-no265228.html>

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001519931.pdf>

<https://www.kenken.go.jp/becc/house.html>

<https://house.lowenergy.jp/dictionary/heating>

■石油資源開発（株）（東京、以下「JAPEX」）など、4月1日に愛知県田原市で「田原バイオマス発電所」を稼働させたと発表。同発電所はJAPEXが39.9%、静岡ガス&パワー（株）（静岡）および（株）東京エネシス（東京）が20%ずつ、川崎近海汽船（株）（東京）が7%、第一実業（株）（東京）が6%、岩谷産業（株）（大阪）が5%、（株）EFインベストメント（東京）が2.0%、Solariant Capital（株）（東京）が0.1%出資し、2015年9月に設立した田原バイオマス発電所合同会社が事業主体。各社の強みに応じて本発電所の運用・保守、燃料の調達・輸送・

管理などの業務を事業会社から受託し実施する。東南アジアから輸入する木質ペレット100%を発電燃料とするバイオマス専焼発電所で、出力規模5万kW。FIT制度を利用し、中部電力パワーグリッド（株）（愛知）へ約3億5,000万kWh/年の見込みで売電する。JAPEXが国内で稼働中のバイオマス発電所は4カ所となり、計画を公表していたバイオマスは全てが稼働したことに【日本経済新聞、石油資源開発（株）：2025/04/01】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC012JV0R00C25A400000/>

https://www.japex.co.jp/news/detail/20250401_01/

■神鋼商事（株）（大阪）、（株）熊谷組（東京）と清本鉄工（株）（宮崎）が推進する愛媛県西条市での「木質ブラックバークペレット（BBP）」製造・販売事業に参画したと発表。BBPは国産バーク材を原料とし、熱処理（半炭化）によって高付加価値化されたバイオマス燃料。熊谷組と清本鉄工が2021年に開発し、2023年5月よりBBPの製造・販売事業を開始。地域材を活用した持続可能な事業展開を目指して、共同出資会社「ローカルエナジーシステム（株）」（大阪）を設立。開発したBBPは、脱炭素に取り組む石炭火力発電事業者等で試験燃焼を実施し、石炭との混焼について評価を得ることができている。神鋼商事は石炭とPKS、木質ペレット等の輸入販売を手掛けており、脱炭素の手段として半炭化バイオマス燃料に着目して調査・検討を進める中で、熊谷組と清本鉄工の事業に参画することに。4月9日には、2月より愛媛県西条市で建設工事が開始されていたBBPの量産に向けた新工場の安全祈願祭を実施。同工場は敷地面積が約12,000㎡、BBPを約3万t/年製造する能力を持つ。2026年7月完成予定、2026年10月から量産を開始する計画【神鋼商事（株）：2025/04/02、2025/04/17】

https://www.shinsho.co.jp/pdf_file/202504/250402_%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9.pdf

[https://www.shinsho.co.jp/pdf_file/202504/%E8%84%B1%E7%82%AD%E7%B4%A0%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E7%87%83%E6%96%99%E3%80%8C%E6%9C%A8%E8%B3%AA%E3%83%96%E3%83%A9%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%83%9A%E3%83%AC%E3%83%83%E3%83%88\(%E5%9B%BD%E7%94%A3%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B0%E6%9D%90%E5%8E%9F%E6%96%99\)%E3%80%8D%E8%A3%BD%E9%80%A0%E5%B7%A5%E5%A0%B4%E5%AE%89%](https://www.shinsho.co.jp/pdf_file/202504/%E8%84%B1%E7%82%AD%E7%B4%A0%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E7%87%83%E6%96%99%E3%80%8C%E6%9C%A8%E8%B3%AA%E3%83%96%E3%83%A9%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%83%9A%E3%83%AC%E3%83%83%E3%83%88(%E5%9B%BD%E7%94%A3%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B0%E6%9D%90%E5%8E%9F%E6%96%99)%E3%80%8D%E8%A3%BD%E9%80%A0%E5%B7%A5%E5%A0%B4%E5%AE%89%)

[E5%85%A8%E7%A5%88%E9%A1%98%E7%A5%AD%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6.pdf](http://www.kyodoshi.com/article/22490)

■上伊那森林組合（長野）、木質ペレットを生産しているバイオマスエネルギー工場（長野県伊那市）の製造設備を増設し、生産体制を拡充。4月3日には現地で操業の安全祈願を行う竣工式を開催。同組合は2004年度から主に上伊那産のアカマツとカラマツを活用した木質ペレット「ピュア1号」を販売。燃焼灰が少なく、熱量が高いなどの特性がある。2004年度の販売量は360tだったが、2021年度には4,000tを超え、以降も毎年4,000t以上に。一般家庭のペレットストーブの普及や伊那市内の学校保育園施設でのペレットボイラの導入、農業用ハウスでの活用などが需要拡大の背景にあると考えられる。同組合は稼働時間を午前6時～午前0時の2交代制にして生産してきたが、伊那市が環境省の事業に採択され、「地域脱炭素移行・再エネ推進事業」を活用して増設することとし、2～3月に工事を実施。総事業費4億4,000万円のうち、国交付金は約2億6,600万円。新設備の導入により1時間1tだった生産能力を倍の2tに拡充。新たな生産ラインは4月7日以降本格的に稼働。2030年度を目安に年間生産量6,000tを目標とする。将来的な稼働時間は午前7時～午後8時を予定し、職員の負担軽減にもつなげる【全国郷土史連合、信濃毎日新聞：2025/04/04】

<http://kyodoshi.com/article/22490>

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2025040400505>

■（一財）地球・人間環境フォーラム（東京、以下「GEF」）、2025年1月～4月にわたり、日本全国のパタゴニア国内直営店全店舗（24店舗）にて、輸入木質バイオマス発電の問題を啓発する展示「原生林を燃やす私たちの電気」を開催。昨年9月にパタゴニア環境助成金プログラムの支援を受け、GEFスタッフがカナダBC州の原生林やペレット工場を視察。その際に同行した自然写真家・伊藤健次氏や速水林業（三重）代表の速水亨氏登壇のトークイベントも開催。イベントの最後には「原生林を燃やさないために、私たちができること」をテーマにグループセッションも実施。また展示期間にあわせて、輸入バイオマスの支援停止を求めるオンライン署名を実施し、3月末時点で20,035件もの署名が集まった。これら署名は経済産業大臣宛に提出していく予定（2月11日に一次提出済）【PR TIMES：2025/04/04】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000145908.ht>

ml

■原木の価格高騰により、2024年3月末で稼働を休止していた北海道下川町の木質バイオマス発電施設が操業を再開し、フル稼働に向けて調整中。新運営会社である「北の森グリーンエナジー（株）」（北海道）は、2024年6月27日付で下川運輸（株）（北海道）が設立した同社に三洋貿易（株）（東京）と大日本ダイヤコンサルタント（株）（東京）が出資を完了するかたちで加わり、翌28日には三井物産（株）（東京）と北海道電力（株）（北海道）が出資し、発電施設を運営していた北海道バイオマスエネルギー（株）（北海道、以下「HBE」）と事業譲渡契約を締結。以後、下川町で事業展開する下川運輸が現場オペレーションを執行し、ペレット工場や木質バイオマス熱電併給施設のメンテナンスには、その技術に精通している三洋貿易が行い、木質バイオマスによる地方創生を推進している大日本ダイヤコンサルタントが経営管理を行っている。同発電施設は最大出力合計1,815kWの小型発電プラント11基と、木質ペレットを製造する工場を備える。北の森グリーンエナジーは2024年8月1日には下川森林バイオマス発電所の事業所の営業を再開し、11月25日には発電を再開。三洋貿易は近隣から木材を集めて事業できる仕組みを整えたほか、1万t/年以上の木質ペレットの生産能力を生かし、新たに外部への販売も検討している。HBEからは石狩管内当別町の木質バイオマス発電施設も引き継いでおり、再開に向けて町と協議を続けているが、「まずは下川の発電施設の稼働率を高めて経営を軌道に乗せていきたい」としている【大日本ダイヤコンサルタント（株）：2025/04/11、三洋貿易（株）：2024/07/01、下川運輸（株）：2024/08/01】

<https://www.dd-con.co.jp/news/2025/20250411news.html>

<https://www.sanyo-trading.co.jp/2024/07/01/kitanomori/>

<https://shimoun.co.jp/archives/973>

■（株）レノバ（東京）、宮城県石巻市にある「石巻ひばり野バイオマス発電所」が、3月28日に営業運転開始から一年を迎え、これまでの稼働日数356日、プラント稼働率99.7%を達成したと公表。同発電所はレノバの他、東京ガス（株）（東京）、ユナイテッド計画（株）（秋田）が出資する合同会社石巻ひばり野バイオマスエナジーが運営。木質ペレット、PKSを燃料とし、発電出力75.0MW、想定年間発電量約53,000万kWh（一般家庭約17万世帯の年間使用電力量に相当）の大型発電所。引き

続き2年目も「安全最優先」を基軸に、高稼働な安定操業に努めていくとしている【(株)レノバ：2025/04/09】

https://www.renovainc.com/development/ishinomaki_hibarino_biomass/202504_5621/

■都農ペレット工業(株)(宮崎)、4月1日、破産手続き開始決定。負債総額は約5億円。同社は2013年11月設立。養鶏場やビニールハウスの暖房用ボイラ燃料のペレットのほか、一般家庭用のペレットストーブ燃料として「ドラゴンペレット」を製造。ドラゴンペレットは、(一社)日本木質ペレット協会の「燃料用優良木質ペレット認証規定」における認証ペレット(認証種類：木質ペレットA)として登録されている。コロナ渦で材料の木材価格が高騰。赤字が続き、3億円超の債務超過と資金繰りにも窮し、今回の事態に至ったとのこと。同社の事業は鹿児島県志布志市にある南九州ペレットバンク合同会社が4月1日付で継承【JCNET：2025/04/10、(一社)日本木質ペレット協会：2024/05/08】

<https://n-seikei.jp/2025/04/post-109185.html>

<https://w-pellet.org/2024/05/08/2898/>

■(株)レノバ(東京)、宮城県仙台市にある仙台蒲生バイオマス(杜の都バイオマス発電所)について、2025年4月1日をもって無事故無災害連続500日を達成したと発表。同発電所はレノバ、ユナイテッド計画(株)(秋田)、住友林業(株)(東京)が出資する合同会社杜の都バイオマスエナジー(宮城)が運営。木質ペレット、PKSを燃料とし、発電出力75.0MW、想定年間発電量が約55,330万kWh(一般家庭約17万世帯の年間使用電力量に相当)。2023年11月に運転を開始【(株)レノバ：2025/04/17】

https://www.renovainc.com/development/sendai_gamo_biomass/202504_5660/

■東北電力(株)(宮城)は4月17日、昨年11月2日に営業運転を始めた山形県遊佐町にある「鳥海南バイオマス発電所」を報道陣に公開。同発電所は東北電力が75%、(株)オリンピック(東京)が15%、静岡ガス&パワー(株)(静岡)が10%出資する鳥海南バイオマスパワー(株)が事業主体。東南アジアから輸入した木質ペレットやPKSを燃料に使用することで、CO₂排出量は約14万t/年削減できるとしている。発電出力は5万2,900kW、年間発電電力量は一般家庭約11万世帯分に当たる約3億3,000万kWh。発電した電力はFIT制度に基づき、東北電力ネットワーク(株)(宮城)に売電。17日は、酒田港を使って輸入された木質ペレットを2~3か月分保管できる倉庫や、燃料を燃やす高さ約60mのボイラなどについて説明が行われた【電機新聞：2025/04/18、NHK NEWS WEB：2025/04/17】

<https://www.denkishimbun.com/archives/385436>

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/yamagata/20250417/6020023730.html>

■福島県北塩原村の裏磐梯ビジターセンターが4月18日、改修を終えて再オープン。センターは環境省が2003年に設置。老朽化などのために2023年10月から休館し、改修作業が進められてきた。展示は「すみか」をテーマに一新。森の中で生き物の姿をのぞいているような感覚で、裏磐梯の四季に触れられる。木質ペレットを活用した床暖房システム、雪室による冷房設備で脱炭素を推進【福島民報：2025/04/19】

<https://www.minpo.jp/news/moredetail/20250419123798>

3. イベント情報(国内)

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■おいしい未来をつくる読書会 by Earthful「食事から気候変動に立ち向かう！私たちの食卓から、未来を創ろう！」

2025年5月10日(土)

地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)(東京都渋谷区)

<https://peatix.com/event/4370960/view>

■環境省「地域脱炭素フォーラム2025 in 横浜」

2025年5月17日(土)

パシフィコ横浜ノース3階(神奈川県横浜市)

https://www.env.go.jp/press/press_04734.html

◎CMT「BIO FUELS & CARBON」

2025年5月20日(火)~21日(水)

東京マリオットホテル(東京都)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=250501>

◎CMT「BIOMASS PELLETS TRADE & POWER」

2025年5月21日(水)～23日(金)

東京マリオットホテル(東京都)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=250501>

◎CMT「2nd Annual BIOINNOVASIA」

2025年5月20日(火)～23日(金)

東京マリオットホテル(東京都)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=250501>

■環境省「地域脱炭素フォーラム 2025 in 神戸」

2025年5月25日(日)

神戸国際会議場 国際会議室 301(兵庫県神戸市)

https://www.env.go.jp/press/press_04734.html

■西粟倉村役場「百年の森林まつり」

2025年5月25日(日)

あわくら会館周辺(岡山県英田郡西粟倉村)

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000149570.html>

■(株)新社会システム総合研究所「トランプ政権後の脱炭素と再生可能エネルギーの国際動向」

2025年5月27日(火)

ライブ配信/アーカイブ配信

<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=25148>

◎日報ビジネス(株)「2025 NEW 環境展/2025 地球温暖化防止展」

2025年5月28日(水)～30日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.n-expo.jp/>

◎ペレットクラブ「Bioenergy 2025」(第3回)

2025年5月28日(水)～30日(金)

東京ビッグサイト東6ホール S-600(2025 地球温暖化防止展内)

<https://pelletclub.jp/library/2025/02/-bioenergy-2025.html>

■おおさか ATC グリーンエコプラザ実行委員会「『EU の炭素国境調整メカニズムの動向』と『SBT 取得の重要性』について」

2025年5月29日(木)

おおさか ATC グリーンエコプラザ内 セミナールーム(大阪)
/Zoom オンライン

https://www.ecoplaza.gr.jp/seminar_post/s20250529/

■九州イノベーション WEEK 実行委員会「九州 GX 脱炭素推進 EXPO」

2025年6月4日(水)～5日(木)

マリンメッセ福岡 A 館(福岡県福岡市)

<https://kfb-shien.com>

■ジャパン・エネルギー・サミット 2025

2025年6月18日(水)～20日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.japanenergyevent.com/>

◎バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)第229回研究会
「2024-2025年のバイオマス利用の最新事情」

2025年6月21日(火)

地球環境パートナーシッププラザ(東京都渋谷区)

<https://www.npobin.net/activity/seminar.html#228>

■岩手・木質バイオマス研究会「2025年度総会」および講演会

2025年7月26日(土)

岩手県民情報交流センター(アイーナ)5階 501会議室(岩手県盛岡市)

<https://wbiate.jimdofree.com/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88%E6%83%85%E5%A0%B1/>

※講演会は会員外の方も参加可

■RX Japan(株)第5回 脱炭素経営 EXPO【秋展】

2025年9月17日(水)～19日(金)

幕張メッセ(千葉県千葉市)

<https://www.decarbonization-expo.jp/hub/ja-jp/about/dcm.html>

■(一社)日本木工機械工業会「日本木工機械展 2025」

2025年10月2日(木)～4日(土)

ポートメッセなごや 第1展示館、屋外(愛知県名古屋市)

<https://mokkiten.com/>

■RX Japan (株) 第5回 脱炭素経営 EXPO 【関西展】

2025年11月19日(水)～21日(金)

インテックス大阪(大阪府大阪市)

<https://www.decarbonization-expo.jp/hub/ja-jp/about/dcm.html>

4. イベント情報(海外)

■Bioenergy Dubai 2025 – International Conference & Exhibition on Bioenergy & Sugar

2025年5月5日(月)～5月7日(水)

ドバイ(アラブ首長国連邦)

<https://sugar-bioenergy.com/>

■Bio-CO2 Use and Removal 2025

2025年5月6日(火)

ヘルシンキ(フィンランド)

<https://www.bioenergia.fi/en/2025/02/14/join-bio-co2-use-and-removal-2025-in-helsinki-on-may-6/>

■EXPO BIOMASA

2025年5月6日(火)～8日(木)

バリャドリード(スペイン)

<https://www.expobiomasa.com/en/>

■BBB Summit 2025

2025年5月8日(木)～9日(金)

ニューデリー(インド)

<https://biogas-india.com/international-summit-on-bioenergy-value-chain/>

■11th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2025

2025年5月20日(火)～21日(水)

ヴァイマル(ドイツ)

<https://regatec.org/>

■Energimässan och Sveriges Energiforum

2025年5月21日(水)～22日(木)

ストックホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/energimassan-och->

sveriges-energiforum/

■CO2 Capture, Storage & Reuse 2025

2025年5月21日(水)～22日(木)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://fortesmedia.com/co2-capture-storage-reuse-2025,4,en,2,1,106.html>

■LIGNA

2025年5月26日(月)～30日(金)

ハノーファー(ドイツ)

<https://www.ligna.de/en/>

■Biofuel Expo 2025 – International Exhibition & Conference on Biofuel & Green Hydrogen

2025年6月4日(水)～6日(金)

グレートノイダ(インド)

<https://www.biofuelexpo.com/>

■Elmia Wood

2025年6月5日(木)～7日(土)

ヨンショーピング(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/en/wood/>

■Sustainable Fuels Summit: Sustainable Aviation Fuel & Renewable Diesel

2025年6月9日(月)～11日(水)

ネブラスカ州オマハ(USA)

https://few.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Sustainable_Fuels_Summit_SAF_Renewable_Diesel_Biodiesel

■Carbon Capture & Storage Summit

2025年6月9日(月)～11日(水)

ネブラスカ州オマハ(USA)

[http://fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Carbon Capture Storage Summit](http://fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Carbon%20Capture%20Storage%20Summit)

■2025 International Fuel Ethanol Workshop & Expo

2025年6月9日（月）～11日（水）

ネブラスカ州オマハ（USA）

<https://2025->

<few.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

■ EUBCE 2025 - 33rd European Biomass Conference and Exhibition

2025年6月9日（月）～12日（木）

バレンシア（スペイン）

<https://www.eubce.com/about-the-conference/#>

■ ENVEX2025 - International Exhibition on Environmental Technology and Green Energy

2025年6月11日（水）～13日（金）

ソウル（韓国）

<https://www.envex.or.kr/eng/main/index.asp>

◎10th Pellet Forum & 3rd European Pellet Forum

2025年6月12日（木）～13日（金）

グディニャ（ポーランド）

<https://magazynbiomasa.pl/pellet-forum/>

■7th Biogas PowerON

2025年9月24日（水）～25日（木）

ハンブルグ（ドイツ）

<https://fortesmedia.com/biogas-poweron->

<2025,4,en,2,1,109.html>

■Future of Biogas West

2025年10月6日（月）～8日（水）

アルバータ州カルガリー（カナダ）

<https://biogasassociation.ca/vob2025west/>

■Biogas Intelligence+

2025年10月7日（火）～9日（木）

シュトゥットガルト（ドイツ）

<https://ibbk-biogas.com/schedule/biogas-intelligence-plus/>

■7th Biomass PowerON

2025年10月8日（水）～9日（木）

ストックホルム（スウェーデン）

<https://fortesmedia.com/biomass-poweron->

<2025,4,en,2,1,110.html>

■All Energy Australia 2025

2025年10月29日（水）～30日（木）

メルボルン（オーストラリア）

<https://www.all-energy.com.au/en-gb.html>

■USIPA 2025 Conference

2025年11月9日（日）～11日（火）

フロリダ州マイアミ（USA）

<https://theusipa.org/2025-conference>

■UNFCCC COP30

2025年11月10日（月）～21日（金）

ベレン（ブラジル）

<https://unfccc.int/process-and-meetings/conferences/un->

<climate-change-conference-belem-november-2025/the-road-to-belem>

■10th Biogas Congress

2025年12月16日（火）～17日（水）

ワルシャワ（ポーランド）

<https://magazynbiomasa.pl/biogas-congress/>

■HOLZ-HANDWERK 2026

2026年3月24日（火）～27日（金）

ニュルンベルク（ドイツ）

<https://www.holz-handwerk.de/en>

■2026 International Biomass Conference & Expo

2026年3月31日（火）～4月2日（木）

テネシー州ナッシュビル（USA）

<https://2025->

<ibce.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

5. 2025年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報（都道府県順）

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◇旭川市「令和7年度旭川市木質バイオマスストーブ導入促進事業補助金」

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/271/290/291/d069431.html>

◇帯広市「新エネルギー導入促進補助金」

<https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/kurashi/kankyo/energy/kashitsuke/1003733.html>

◇北広島市「北広島市住宅用再生可能エネルギー及び省エネルギー機器設置補助金」

<https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/detail/00145684.html>

◇札幌市「再エネ省エネ機器導入補助金制度」

<https://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/hojo/kiki.html>

※申込募集は2025年5月7日（水）から開始

◇当別町「令和7年度 当別町再生可能エネルギー設備導入推進事業補助金」

<https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/soshiki/energy/49141.html>

◇富良野市「再生可能エネルギー導入促進事業補助金」

<https://www.city.furano.hokkaido.jp/life/docs/2015022400163.html>

【青森県】

◆八戸市「令和7年度八戸市木質バイオマス利活用促進事業補助金」

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/norinchi>

[kusanka/sangyo/3/19902.html](https://www.city.kusanka.sangyo/3/19902.html)

【秋田県】

◇北秋田市「北秋田市住宅用木質ペレットストーブ等導入補助金」

<https://www.city.kitaakita.akita.jp/news/p17075>

◇湯沢市「湯沢市木質バイオマス導入促進事業補助金」

<https://www.city-yuzawa.jp/soshiki/44/5533.html>

【岩手県】

◇一関市「令和7年度薪ストーブ設置費補助金」

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/29,180901,243,787.html>

※対象は薪ストーブ

◇山田町「山田町木質バイオマスストーブ設置事業補助金」

<https://www.town.yamada.iwate.jp/docs/7903.html>

【山形県】

◇飯豊町「木質ペレット版ポイント事業」

https://www.town.iide.yamagata.jp/001/teijyuu_kurashi.html

※対象は町内産木質ペレット燃料

◇大江町「おおえを潤す木質エネルギー利用促進事業補助金」

<https://www.town.oe.yamagata.jp/organization/div05/sec019/419>

◆大蔵村「木質バイオマス利用拡大支援事業」

https://www.vill.ohkura.yamagata.jp/soshikikarasagasu/sangyos_hinkoka/gyomuannai/8/560.html

◇金山町「薪ストーブ・ペレットストーブ等設置補助金」

https://www.town.kaneyama.yamagata.jp/shigoto_sangyo/ringyo/1141.html

◇寒河江市「令和7年度寒河江市再生可能エネルギー設備導入事業補助金」

<https://www.city.sagae.yamagata.jp/kurashi/sumai/kankyousai>

[seienagy.html](#)

◇白鷹町「令和 7 年度白鷹町再生可能エネルギー推進事業費補助金」

<https://www.town.shirataka.lg.jp/1203.htm>

◇高島町「令和 7 年度高島町再生可能エネルギー設備導入事業費補助金」

<https://www.town.takahata.yamagata.jp/soshikiichiran/kikaku/3/kankyo/saiene.html>

◆鶴岡市「令和 7 年度鶴岡市再生可能エネルギー設備・木質バイオマスエネルギー設備普及促進事業費補助金」

<https://www.city.tsuruoka.lg.jp/seibi/kankyo/recycleenergy/kanryoene.html>

◇東根市「令和 7 年度東根市ペレットストーブ等設置支援事業費補助金」

https://www.city.higashine.yamagata.jp/section_list/section008/1824

◆村山市「木質バイオマス燃焼機器設置事業補助」

<https://www.city.murayama.lg.jp/kurashi/josei/josei/biomass.html>

◇山形県「令和 7 年度やまがた未来くるエネルギー補助金」

https://www.pref.yamagata.jp/050016/kurashi/kankyo/energy/saiseikanou/saiseikanou_hojo_h31.html

【福島県】

◇いわき市「令和 7 年度いわき市ゼロカーボンライフスタイル促進補助制度」

<https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1680488419046/index.html>

※申請は 5 月下旬開始予定

◇古殿町「ペレット・薪ストーブ設備設置費用の補助」

<https://www.town.furudono.fukushima.jp/kurashi/jyuutaku-tochi-koutu/taiyoukouhatuden/11>

【栃木県】

◇さくら市「脱炭素化普及促進事業補助金」

<https://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/life/000014/000590/p001978.html>

◇那珂川町「令和 7 年度那珂川町低炭素まちづくり推進設備等導入事業費補助金」

<https://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/life/kurashi/2023-0405-1911-23.html>

◇矢板市「令和 7 年度矢板市家庭のゼロカーボン推進補助金」

<https://www.city.yaita.tochigi.jp/soshiki/seikatsukankyou/zero-carbon-hojo.html>

【群馬県】

◇みどり市「住宅用脱炭素推進補助金」

<https://www.city.midori.gunma.jp/kankyo/1001719/1006953/1006954.html>

【千葉県】

◆山武市「山武市木質バイオマス燃料利活用補助金」

<https://www.city.sammu.lg.jp/kurashi/hojyo-shien/page001016.html>

【東京都】

◇八王子市「令和 7 年度（2025 年度）再生可能エネルギー利用機器等設置費補助金」

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/life/004/a546973/a871645/p007132.html>

【新潟県】

◇魚沼市「再生可能エネルギー普及促進事業補助金」

<https://www.city.uonuma.lg.jp/page/1020370.html>

◇小千谷市「令和 7 年度小千谷市脱炭素設備導入促進補助金」

<https://www.city.ojya.niigata.jp/soshiki/kankyo/saienehojokin.html>

◆関川村「木質バイオマスストーブ等設置補助事業」

<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/life/3289/15/4394/index.html>

[ml](#)

◇見附市「新エネルギー導入促進事業補助金交付制度」
<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/soshiki/20/34991.html>

◆南魚沼市「木質バイオマスストーブ等設置補助金」
http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/fs/2/6/8/0/3/3/_/250401-11.pdf

◆湯沢町「再生可能エネルギー普及促進事業補助金制度」
<https://www.town.yuzawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kikkakusangy-oukankoubu/kankyonorinka/8/1/601.html>

【富山県】

◇小矢部市「小矢部市木質バイオマスストーブ設置推進事業補助金」
<https://www.city.oyabe.toyama.jp/kurashi/1002145/1002169/1002176.html>

◇上市町「上市町ペレットストーブ導入促進事業補助金」
<https://www.town.kamiichi.toyama.jp/page/1591.html>

◇富山市「令和7年度富山市省エネルギー機器等導入補助事業」
<https://www.city.toyama.lg.jp/kurashi/gomi/1010252/1005156.html>
※申請受付は5月1日より開始

◇南砺市「木質ペレットストーブ等設置事業補助金」
<https://www.city.nanto.toyama.jp/soshiki/ecovillage/2/1/762.html>

【石川県】

◇内灘町「令和7年度内灘町新エネルギー・省エネルギーシステム設置費補助金」
<https://www.town.uchinada.lg.jp/soshiki/jumin/2917.html>

◇珠洲市「珠洲市木質バイオマスストーブ購入費補助金」
<https://www.city.suzu.lg.jp/soshiki/2/1472.html>

◇能美市「能美市自然エネルギー設備設置補助金」
<https://www.city.nomi.ishikawa.jp/www/contents/1001000000179/index.html>

【福井県】

◇福井市「木質バイオマス利用促進事業」
<https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/jutaku/sumai/p025857.html>
※申込期間：2025年5月8日(木)～2026年1月30日(金)

【山梨県】

◇忍野村「木質ペレットストーブ設置費補助金」
<https://www.vill.oshino.lg.jp/page/1513.html>

◇山梨市「令和7年度木質バイオマス資源利活用補助金」
<https://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/soshiki/15/1061.html>

【長野県】

◆飯山市「飯山市森のエネルギー推進事業補助金」
<https://www.city.iiyama.nagano.jp/soshiki/shinrin-nouchi/shinrin-nouchi/57818/peretto>
※申請期間は2025年9月30日(火)まで

◇上田市「森のエネルギー推進事業補助金」
<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/sinrin/1354.html>
※対象は薪ストーブ

◆大町市「森のエネルギー推進事業補助金」
<https://www.city.omachi.nagano.jp/00010000/doc/00010200/0000004.html>
※申請期限は5月30日(金)まで

◆塩尻市「塩尻市木質バイオマス利用設備設置費等補助金」
<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/63/2997.html>

◇下諏訪町「下諏訪町木質バイオマス循環利用普及促進事業補助金」
<https://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/contents/1737418804405/index.html>
※例年6月～7月頃にかけて募集

◆須坂市「須坂市ペレットストーブ等設備導入費補助金」

<https://www.city.suzaka.nagano.jp/soshiki/3030/3/678.html>

※2025年度は8月1日より開始予定

◇諏訪市「ペレットストーブの補助金制度」

<https://www.city.suwa.lg.jp/soshiki/17/1194.html>

※毎年7月頃、市広報誌「広報すわ」や市ホームページへ案内を掲載予定

◆千曲市「令和7年度千曲市森のエネルギー推進事業補助金」

<https://www.city.chikuma.lg.jp/soshiki/norin/sangyoshinko/1/1681.html>

応募申込期間：4月14日（月）～5月23日（金）

◆中川村「中川村森のエネルギー推進事業補助金」

<https://www.vill.nakagawa.nagano.jp/soshiki/shinkou/6632.html>

◇松本市「松本市薪ストーブ等購入事業補助金」

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/74/3177.html>

※対象は薪ストーブおよびハイブリッドストーブ（薪・ペレット兼用ストーブ）

◆箕輪町「箕輪町木質バイオマス機器設置事業補助金」

https://www.town.minowa.lg.jp/soshiki/midori_senryaku/gyomu/1/1/690.html

【岐阜県】

◆岐阜県「木質バイオマス利用施設導入促進事業」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/340823.html>

◆関市「薪ストーブ等購入補助金」

<https://www.city.seki.lg.jp/0000018182.html>

【京都府】

◇亀岡市「薪ストーブおよび木質ペレットストーブ購入補助金」

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/30/3644.html>

【大阪府】

◇高槻市「令和7年度エコハウス補助金」

<https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/25/1909.html>

【兵庫県】

◇宍粟市「木質バイオマスストーブ補助金」

<https://www.city.shiso.lg.jp/material/files/group/36/suto-butirashi2025.pdf>

◆宍粟市「木質バイオマスボイラー 補助金」

<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/sangyo/rinngyousinnkou/tanntoujyohou/shinenerugi/1515744479193.html>

◆新温泉町「新温泉町再生可能エネルギー導入促進事業」

https://www.town.shinonsen.hyogo.jp/page/?mode=detail&detail_mode=topics&page_id=4608e6edfca1d28e114ab35a483bb4d7

◇丹波篠山市「令和7年度薪ストーブ等設置補助金」

https://www.city.tambasayama.lg.jp/soshikikarasagasu/nomiyakokankyoka/earth/r5_woodstove.html

◆丹波市「令和7年度薪ストーブ・薪ボイラー設置補助金」

<https://www.city.tamba.lg.jp/kurashi/kankyojozen/ondanka/7609.html>

◆豊岡市「2025年度豊岡市木質バイオマス利用機器導入促進事業補助金」

<https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/gomikankyo/1019255/1019260/1019262/1033126.html>

※受付期間：2025年4月1日（火）～2026年2月27日（金）

【鳥取県】

◇北栄町「令和7年度北栄町創エネルギー等設備設置費補助金」

<https://www.e-hokuei.net/1833.htm>

【島根県】

◇出雲市「令和7年度出雲市再生可能エネルギー設備等導入補助金」

<https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1665750354587/index.html>

◇松江市「令和7年度松江市再生可能エネルギー機器等導入促進事業補助金」

<https://www.city.matsue.lg.jp/soshikikarasagasu/kankyoenergyb>

u.kankyoenergyka/gomi_kankyo_pet/1/8/991.html

【岡山県】

◆真庭市「真庭市木質バイオマス利用開発推進事業補助金」

<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/41/26451.html>

【広島県】

◇安芸太田町「ペレットストーブ等購入補助金」

<https://www.akiota.jp/site/tetsuduki/1173.html>

◆世羅町「再生可能エネルギー設備設置費補助金」

<https://www.town.sera.hiroshima.jp/soshiki/4/10059.html>

【徳島県】

◇美波町「環境対策支援事業補助金」

<https://www.town.minami.lg.jp/docs/209.html>

【熊本県】

◇高森町「令和7年度高森町ペレットストーブ等設置費補助金」

<https://www.town.kumamoto-takamori.lg.jp/page/7946.html>

6. 公募等情報（締切順）

■（一社）環境技術普及促進協会「令和6年度（補正予算）及び令和7年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（民間企業等による再エネの導入及び地域共生加速化事業）設置場所の特性に応じた再エネ導入・価格低減促進事業のうち再エネ熱利用・工場廃熱利用等の価格低減促進事業」

一次公募 2025年4月3日（木）～5月8日（木）

二次公募 2025年6月5日（木）～7月3日（木）

<https://www.eta.or.jp/offering/2025/netsu/index.php#tab01>

■（一財）環境イノベーション機構「令和6年度（補正予算）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）」

二次公募 2025年4月7日（月）～5月9日（金）

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/resilience/>

■（一財）環境イノベーション機構「令和7年度（当初予算）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）」

一次公募 2025年4月7日（月）～5月9日（金）

https://www.eic.or.jp/eic/topics/2025/resi_r07/1st/

■NEDO『「持続可能な航空燃料（SAF）等の安定的・効率的な生産技術開発事業」に係る公募について」

公募期間 2025年4月14日（月）～2025年5月15日（木）

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100423.html

■北海道「令和7年度地域新エネルギー導入加速化調査支援事業費補助金」

受付期間 2025年5月26日（月）

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/96036.html>

■北海道「令和7年度ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業費補助金」

受付期間 2025年5月26日（月）

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/108007.html>

■北海道「令和7年度ゼロカーボン・イノベーション導入支援事業費補助金」

受付期間 2025年5月26日（月）

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/108001.html>

■北海道「令和7年度新エネルギー設計支援事業費補助金」

受付期間 2025年5月26日（月）

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/96174.html>

■北海道「令和7年度新エネルギー設備導入支援事業費補助金」

受付期間 2025年5月26日（月）

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/setsubidounyuu.html>

■（一社）環境技術普及促進協会「令和6年度（補正予算）及び令和7年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（民間企業等による再エネの導入及び地域共生加速化事業）設置場所の特性に応じた再エネ導入・価格低減促進事業のうち地域におけ

る脱炭素化先行モデル創出事業」

一次公募 2025年4月24日(木)～5月29日(木)

二次公募 2025年6月12日(木)～7月10日(木)

<https://www.eta.or.jp/offering/2025/decarbon/index.php#tab01>

■(一社)環境技術普及促進協会「令和6年度(補正予算)及び令和7年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(民間企業等による再エネの導入及び地域共生加速化事業)離島の脱炭素化推進事業」

一次公募 2025年4月24日(木)～5月30日(金)

二次公募 2025年6月13日(金)～7月11日(金)

<https://www.eta.or.jp/offering/2025/ritou/index.php#tab01>

■兵庫県「令和7年度地域創生!再エネ発掘プロジェクトの募集開始」

募集期間 2025年4月14日(月)～5月30日(金)

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk19/press/20250414.html>

■北海道「令和7年度省エネルギー設備導入計画等作成支援事業費補助金」

受付期限 2025年6月13日(金)

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/107863.html>

■北海道「令和7年度省エネルギー設備導入支援事業費補助金」

受付期限 2025年6月13日(金)

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/107905.html>

■(一財)環境イノベーション情報機構「令和6年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業(SHIFT事業))省CO2型設備更新支援C(中小企業事業)」(六次公募)

公募期間 2025年4月15日(火)～9月末日(予定)

https://www.eic.or.jp/eic/topics/2024/shift_r06/6th/

■兵庫県高砂市「高砂市中小事業者脱炭素化設備等導入促進補助金」

受付期間 2025年5月1日(月)～12月26日(金)

<https://www.city.takasago.lg.jp/soshikikarasagasu/kankyoseisa>

[kuka/4/hojyokinn/10321.html](https://www.city.kukin.lg.jp/hojyokinn/10321.html)

■長野県松本市「松本市再生可能エネルギー導入支援事業補助金」

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/51/4407.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸木質バイオマス暖房機等設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■高知県「高知県林業・木材産業改善資金」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024041500181/>

■北海道「林業・木材産業改善資金」

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/05_rinkin/k002.html

■滋賀県甲賀市「再生可能エネルギー地域導入促進事業補助金」

<https://www.city.koka.lg.jp/6567.htm>

■滋賀県甲賀市「甲賀市公共の施設等再生可能エネルギー導入事業補助金」

<https://www.city.koka.lg.jp/7406.htm>

■富山県「脱炭素社会推進資金(再生可能エネルギー利用促進枠)」

<https://www.pref.toyama.jp/1300/sangyou/shoukoukensetsu/shoukougyou/kj00012293/kj00012293-008-01.html>

■富山県「富山県中小企業脱炭素社会推進資金環境施設整備枠融資制度」

<https://www.pref.toyama.jp/1705/kurashi/kankyoushizen/kankyoushizen/kj00006264.html>